



産業廃棄物処理計画書

令和元年 6月 25日

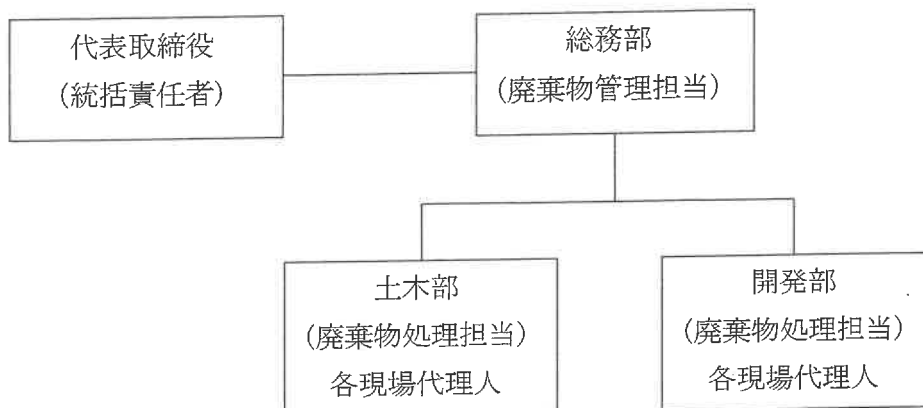
島根県知事
丸山 達也 殿提出者
住 所 島根県浜田市下府町327番地41
氏 名 祥洋建設株式会社
代表取締役 今井 久晴
電話番号 0855-23-6667

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	祥洋建設株式会社
事業場の所在地	島根県浜田市下府町327番地41
計画期間	平成31年4月1日 から 令和2年3月31日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	3,230,995千円 (完成工事高)
③ 従業員数	54人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	添付1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	添付2のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 各工事現場において廃棄物の排出に抑制に関して、できる限り廃棄物の発生しないように努める。作業工程の見直し、再利用できるものは再生利用する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	添付3のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記の内容を実施予定。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各工事現場の工程ごとに運搬・処理を委託しており、分別を積極的に行っている。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の内容を実施予定。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定はありません。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実施はありません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 実施予定はありません。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定はありません。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

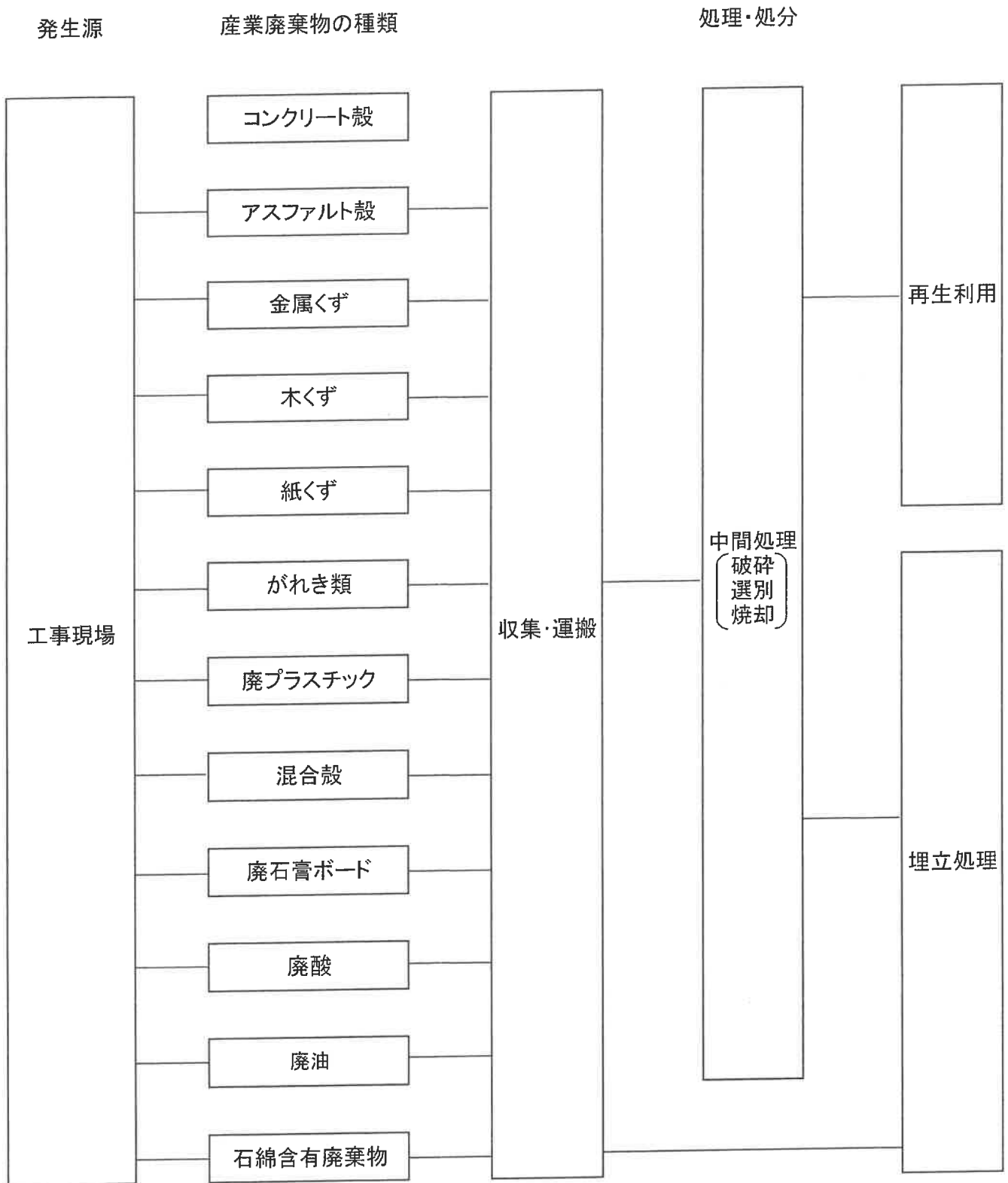
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	添付2のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	添付3のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>再生利用が可能である産業廃棄物は再生利用業者への処理委託をし発生量をできる限り抑制する。 なるべく優良認定処理業者へ処理を委託する。</p>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

添付1 産業廃棄物発生処理フロー図



※工事現場より発生した産業廃棄物は処理業者へ委託し処分する。

※収集・運搬については委託に限らず、自社で収集・運搬の場合もある。

	前年度の 産業廃棄物 抑制目標	本年度実施												
		①産業廃棄物 排出量	②自己直接 再生利用	③自己直接 埋立処分 又は 海洋投入量	④自己中間 処理量	⑤④のうち 熱回収を 行った量	⑥自己中間 処理残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自己中間 処理後 再生利用 した量	⑨自己中間 処理後 埋立処分 又は 海洋投入量	⑩直接委託 及び自己処理 後委託処分量	⑪⑩のうち 特定処理 業者への処理 委託量	⑫⑩のうち 再生利用 業者への処理 委託量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処理 委託量
7-スチロールシートがら	t 1489.88	1346.90	0	0	0	0	0	0	0	1346.90	0.00	1346.90	0	0
シートがら	t 1660.69	3852.49	0	0	0	0	0	0	0	3852.49	0.00	3852.49	0	0
がれき類	t 15.51	228.11	0	0	0	0	0	0	0	228.11	155.40	0	0	0
金属くず	t 8.22	1.36	0	0	0	0	0	0	0	1.36	1.36	0	0	0
安定型混合廃棄物	t 2.99	39.49	0	0	0	0	0	0	0	39.49	37.67	0	0	0
管理型混合廃棄物	t 55.81	94.91	0	0	0	0	0	0	0	94.91	94.89	0	0	0
腐プラスチック類	t 16.17	94.92	0	0	0	0	0	0	0	94.92	81.06	0	0	0
木くず	t 261.77	1432.88	0	0	0	0	0	0	0	1432.88	474.01	0	0	0
紙くず	t 2.70	4.38	0	0	0	0	0	0	0	4.38	4.38	0	0	0
廃石膏ボード	t 47.06	35.67	0	0	0	0	0	0	0	35.67	7.55	0	0	0
廃油	t 0.54	1.31	0	0	0	0	0	0	0	1.31	1.31	0	0	0
廃酸	t 0.00	0.01	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0.01	0	0	0
石綿含有廃棄物(がれき類)	t 0.00	23.68	0	0	0	0	0	0	0	23.68	0.00	0	0	0
計	t 3561.34	7156.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7156.11	857.64	5199.39	0.00	0.00

添付3

	前年度の産業廃棄物発生量	本年度の目標											⑬⑩のうち 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量	
		①産業廃棄物 排出量	②自己直接 再生利用	③自己直接 埋立処分 又は 海洋投入量	④自己中間 処理量	⑤④のうち 熱回収を 行った量	⑥自己中間 処理残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自己中間 処理した後 再生利用 した量	⑨自己中間 処理後 埋立処分 又は 海洋投入量	⑩直接委託 及び自己処理 後委託処理量	⑪⑩のうち 優良認定処理 業者への処理 委託量		⑫⑩のうち 再生利用 業者への処理 委託量
737アルコングリートから	t 1346.90	1077.52	0	0	0	0	0	0	0	1077.52	0	1077.52	0	0
ングリートから	t 3852.49	3081.99	0	0	0	0	0	0	0	3081.99	0	3081.99	0	0
その他がれき類	t 228.11	182.49	0	0	0	0	0	0	0	182.49	182.49	0	0	0
金属くず	t 1.36	1.09	0	0	0	0	0	0	0	1.09	1.09	0	0	0
安定型混合廃棄物	t 39.49	31.59	0	0	0	0	0	0	0	31.59	31.59	0	0	0
管理型混合廃棄物	t 94.91	75.93	0	0	0	0	0	0	0	75.93	75.93	0	0	0
廃737スラック類	t 94.92	75.94	0	0	0	0	0	0	0	75.94	75.94	0	0	0
木くず	t 1432.88	1146.30	0	0	0	0	0	0	0	1146.30	1146.30	0	0	0
紙くず	t 4.38	3.50	0	0	0	0	0	0	0	3.50	3.50	0	0	0
廃石膏ボード	t 35.67	28.54	0	0	0	0	0	0	0	28.54	28.54	0	0	0
廃油	t 1.31	1.05	0	0	0	0	0	0	0	1.05	1.05	0	0	0
廃酸	t 0.01	0.01	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0.01	0	0	0
石綿含有廃棄物(がれき類)	t 23.68	18.94	0	0	0	0	0	0	0	18.94	18.94	0	0	0
計	t 7156.11	5724.89	0	0	0	0	0	0	0	5724.89	1546.43	4159.51	0	0

※ 上記の本年度受注予定箇所の合計から前年度より発生量を約20%抑制する事を目標に設定した数値ですが、今後の受注工事の内容により大きく変化する可能性があります。